北海道美深高等養護学校



コミュニティスクール通信 第3号

令和7年2月21日(金)

発行:北海道美深高等養護学校学校運営協議会

◆令和6年度第3回学校運営協議会を開催しました。

令和7年2月21日(金)に次の内容で第3回学校運営協議会を開催しました。

- ○協議事項1【学校運営に関すること】
 - ・令和6年度学校評価について
 - ⇒学校評価では、学校運営協議会委員より「保護者懇談の実施方法」「校内研修」「魅力ある 学校(寄宿舎)づくり」について御意見を賜りました。
 - ・令和7年度学校経営(グランドデザイン)について
 - ・令和6年度第3学年進路決定状況一覧について
 - ・令和7年度特別支援学校入学者選考について
 - ・地域と連携した教育活動について
- ○協議事項2【学校支援に関すること】
 - ・グループ別協議(2グループに分かれて熟議)

「テーマ1:学校運営協議会の組織及び運営に関する振り返り」

「テーマ2:地域と連携した教育活動の成果と課題及び次年度に向けての整理

◎グループ別協議では、各グループから次のような意見が出されました(抜粋)

◎第1部会

- ・本校と地域の高等学校との交流及び交流学習において、学校運営協議会で話し合われた内容をつなげることができた。
- ・JR美深駅の椅子に使用する座布団の制作ができるとよいのではないか。その際、例えば、鉄道路線などをユーチューブにアップロードしているユーチューバーが動画を取り上げてくれたら、取り組みを広く周知することができるのではないか。
- ・現在、美術関係の交流を検討している方との取り組みを推進したい。その際、地域の高等学校とも連携することができると良いのではないか。
- ・昨年度、寄宿舎が町の太鼓の団体と連携した取り組みを実施した。今後も継続していけると良い。
- ・美深町ではなく、近郊の市に居住している教職員も多い。古くなった住宅を整備すると美深町へ居住する教職員が増えるのではないか。

◎第2部会

- ・学校運営協議会を、毎回午前中に開催した。次年度もこの時間帯で開催して問題ない。
- ・集中作業で取り組んでいる除雪は、地域から大変喜ばれている。
- ・除雪先を集約する際、町の防災端末や回覧板を活用することができると良いのではないか。
- ・次年度に向けて、冬の集中作業(除雪)の幅を広げるため、例えば、2月に地域で行っている、雪の 灯ろう作りのイベントに参加することができると良いのではないか。
- ・現在、名寄市で製品販売会を行っているが、美深町内で販売会はできないだろうか。町で販売会をするときは、防災端末や回覧板を使って周知できると良い。また、雪のない時期だったら、COM100 (地域の公共施設)前にテントを設営して販売会を行っても良い。
- ・本校の作業製品を、町の行事の景品として提供することができれば良いのではないか。
- ・町の清掃活動も需要があるのではないか。
- ・今回行った、越冬キャベツ販売は地域で大変喜ばれ、高いニーズがある。次年度も実施してほしい。
- ・COM100 (地域の公共施設) や町民体育館の幼児コーナーのおもちゃが老朽化している。本校で新しいおもちゃを製作してくれるとありがたい。